



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年8月30日



421人で乾杯



抽選会



全員でジャンケン



目玉賞品当選者

組合では新たな組合員支援事業として、弁護士、社会保険労務士、司法書士の専門家による無料相談コーナーを8月から開始した。

近年、過労問題や未払い残業問題などの労使間におけるさまざまなトラブルに伴う法律改正などが頻りに繰り返されており、各分野の専門知識がないと対応できない状況となっている。特に、地元中小企業の組合員は顧問弁護士や顧問社会保険労務士がいな場合も多く、困った際に相談する専門家を探すのに苦慮している。

そこで、普段の事業活動の中で生じる様々な経営上の問題などについて、組合顧問の専門家の協力のもと相談コーナーを新設することとした。

同コーナーでは相談日は特定せず、組合員からの依頼があった都度、専門家と相談の

うえ日程を調整して開催。会場は問屋町会館で、1社月1回、相談時間は30分程度。相談費用は無料だが、別途依頼した個別指導や登記手続などの事務代行手続きは有料となる。

債権回収や民事事件一般、パワハラ・セクハラなどの法律に関する相談については沼田法律事務所の高木隆之助弁護士と熨斗佑城弁護士が担当。就業規則の見直しや労働時間のトラブル、年金の相談など労務に関する相談は、㈱ビジネスブレイン代表取締役で社会保険労務士の佐藤博子氏が対応する。各種契約書関係や不動産・会社法人等の登記などに関する相談は、司法書士の伊藤重治氏が相談を受ける。

同コーナーに関するお申し込みやお問い合わせは、卸センター事務局(☎73814711 担当:成田)まで。

## 夏の人気イベント 問屋町納涼パーティーが盛大に開催

7月26日(金)、午後7時からホテル青森において「問屋町納涼パーティー」が開催され、56社421名が参加した。同パーティーは今回で27回目を迎え、近年は毎回400名以上が参加する大人気イベントとなっている。

西理事長のあいさつの後、柳谷副理事長の乾杯の音頭でパーティーは開幕。会場中央にはビュッフェ形式の料理が数多く並び、飲み放題メニューも生ビールをはじめ種類豊富となっている。

富に用意され参加者の喉を潤した。パーティーをより楽しんでもらうために毎年実施しているテーブル対抗ゲーム。今年度は全員参加の「問屋町大ジャンケン大会」を実施。はじめにステージ上の従業員モニターとジャンケンをし、勝ち残った20名程がステージに上って1対1で対決。3位までの順位が決められ、入賞者には座っていたテーブル全員に問屋町の人気ラーメン店「らーめんはちもり」のラーメン無料券が贈られた。

会場内の盛り上がりが高潮に達したのは豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会。今回も組合員から多くの協賛品の提供を受け、200個を超える賞品がステージ上に準備された。当選番号がコールされ、ス

たびに参加者は一喜一憂。ステージ上から賞品がなくなつた後も賞品が追加されるなどパーティーは最後まで大盛況であった。4K対応液晶テレビやシャークのコードレスクリナー、折りたたみ自転車などの豪華目玉賞品を手にした当選者は満面の笑みで会場を後にした。

今回のパーティーでも組合員の若手従業員で組織される問屋町従業員モニターのメン

### 専門家による無料相談コーナー新設



ビールの売り子をする従業員モニター



**新設な承認**  
**第3回理事會**

第3回理事會が7月22日(月)に問屋町會館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からはインフルエンザ予防接種に関するアンケート調査結果について報告した。

主な案件審議は次のとおり。  
 案件一：企画情報委員会からの意見について

専門家による相談コーナーの新設や国内経済視察会の開催などが承認された。

**青森県の人材確保・人材定着に向けた取り組みについて学ぶ**  
**青森県流通団地連絡協議會**

青森県内5卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議會では、7月16日(火)に第2回団地組合職員研修會を開催した。

青森国際ホテルで開催された同研修會には卸団地職員に加え、組合指導機関である青森県商工労働部、青森市経済部、青森県中小企業団体中央會から計29名が出席した。

研修の講師は県労政・能力開発課の菊池副参事が務め、青森県の人材の確保定着施策の取組みについて紹介。学生を採用できている企業の特徴



団地組合職員研修會

八巻審理専門官が務めた。主な研修内容は次のとおり。  
 ▽貸倒引当金について  
 ①損金経理により貸倒引当金に繰り入れた額については、一定の繰入限度額の範囲内で損金算入が認められる。  
 ②繰入限度額は、個別評価金銭債権と一括評価金銭債権とに区分し、それぞれ算出する。  
 (1)個別評価金銭債権は、それぞれの会社に繰入限度額を設定して管理する。  
 (2)一括評価金銭債権は、売掛金など金銭債権の期末帳簿価額に一定の貸倒実績率をかける算出する。  
 ③繰入限度額の計算方法

**売掛債権と貸倒引当金について学ぶ**  
**税務研修會**

7月29日(月)に問屋町會館で第1回税務研修會が開催され、組合員12名が参加した。今回の講師は青森税務署

**北斗七星巡りて商売繁盛祈願**  
**問屋町支店長・所長連絡會**

問屋町支店長・所長連絡會主催の第7回北斗七星巡りが7月17日(水)に開催され、同會会員ら12名が参加した。北斗七星巡りは、坂上田村麻呂が津軽の平定を願ひ建立したとされる7つの神社を巡礼するもの。各神社の位置をなぞると北斗七星の形になり、問屋町の大星神社を起点に巡礼すると商売繁盛にご利益があるといわれる。



大星神社で記念撮影

**大星神社で例大祭が執り行われる**

問屋町に隣接する大星神社において、7月21日(日)に例大祭が執り行われた。当日は関係者及び近隣住民が参加し、地域の安泰や五穀豊穡を



宵宮で奉納された獅子踊り

祈願した。  
 例大祭前日の20日(土)には宵宮が開かれ、境内には数多くの露店が立ち並び、参道は多くの参拝客で賑わっていた。宵宮では駒込獅子踊り保存會による獅子踊りも奉納され、観客を沸かせた。



税務研修會

▽貸倒損失の判定基準  
 ①金銭債権の全部または一部の切捨てをした場合の貸倒れ。  
 ②回収不能の金銭債権の貸倒れ。  
 ③一定期間取引停止後弁済がない場合等の貸倒れ。

新型定期預金  
**マイナーベスト**

有利な金利設定 \*      固定金利の半年複利      1年、2年、3年から期間が選べる

\* 当金庫内の商品と比較した場合

●詳しくは店頭チラシまたはホームページをご覧ください。

青森支店  
 〒030-0861  
 青森市長島 2-1-7  
 TEL 017-734-5411

人を守る。未来を思う。  
**商工中金**

# 問屋町たんしん

①第7回問屋町防災訓練  
日時 9月10日(火)  
午前10時～正午

内容 (1)救命訓練  
(2)火災時訓練  
(煙体験)

場所 問屋町会館  
(3)炊き出し訓練

②第8回問屋町従業員親睦交流会  
日時 9月13日(金)  
午後7時～9時

場所 ホテル青森

参加料 1,500円

## 業務報告

### …主要事項…

- 7月
- 1日▽市産業振興財団理事会
- ▽青森中金会通常総会
- 5日▽商団連事務局次世代の会
- ▽東北卸商業団地連絡協議会通常総会
- 9日▽問屋町地区健康診断
- ▽青森経済同友会通常総会
- 10日▽第1回とんやまら健康づくり実践塾
- 11日▽第4回問屋町合同清掃
- 16日▽金融審査会

- ▽県流通団地連絡協議会第2回団地組合職員研修会
- 17日▽青友会第7回北斗七星巡り
- 18日▽第1回企画情報委員会
- 21日▽大星神社例大祭
- 22日▽第3回理事会
- ▽問屋町政経クラブ幹事会・第33回総会
- 23日▽安協問屋町支部第1回街頭指導
- 26日▽第27回問屋町納涼パーティー
- 28日▽八甲田山ハイキング
- 29日▽第1回税務研修会
- 30日▽県中小企業団体事務局代表者懇話会通常総会

- …問屋町ビジネススクール…
- 4日▽労働時間管理実務 vol.2
- 5日▽RPAによる業務の自動化
- 11日▽会計経理の基礎講座(導入編)①
- 16日▽会計経理の基礎講座(導入編)②
- 17日▽最新版/ニュースレターの作り方
- 18日▽Y.S.C.L.U.B.④
- 25日▽労働時間管理実務 vol.3

第48弾となる今回の経済雑感「青森銀行問屋町支店の高橋支店長」に寄稿いただいた。

### 経済雑感

第九十八回

株式会社青森銀行問屋町支店  
支店長 高橋 秀成

先日、2019年4月～6月期の実質国内総生産(GDP)は年率換算で1.8%増と、2018年10月～12月期から3四半期連続でプラス成長を維持したと発表された。プラス成長を牽引したのは、GDPの多くを占める個人消費で、大型連休によるレジャー関連支出や自動車やエアコンなどの耐久消費財が堅調であった。

政府は今回の増税前後で需の平準化を図るため、減税



株式会社青森銀行問屋町支店  
支店長 高橋 秀成

は、世界経済の減速、米中貿易摩擦による海外リスクが高まる中、外需の落ち込みを内需でカバーする構造は、7月～9月期も続くとしており、当面の大きな難関は10月からの消費増税による景気の減速である。

求められるであろう。(つづく)

の、大型連休や一部の増税前の駆け込み需要など、特需に支えられた面があり、持続性としては不安を残している。但し、人手不足に対応した合理化投資などの企業の設備投資が率換算で6.1%増と大きく伸びた点には明るい材料がある。

やキャッシュレス化の促進も兼ねたポイント還元などで2兆円を超える対策を準備しており、2014年4月の増税に比べると駆け込み需要も少なく、反動減は小さいとの見方を示しており、実際、前

**STS** ロジスティクス・ソリューション

**株式会社 新開トランスポートシステムズ**

- ◆総合物流事業
  - 包装・輸送・保管・荷役・搬入・据付・搬出
  - 包装資材加工及び物流機器の販売
  - 技術・情報システムのソフト開発及び販売
  - 工場・クリーンルーム内の搬入・据付・搬出・輸送
  - 医療機器・半導体装置・精密機器・その他機器の輸送・搬入・据付・搬出
  - 倉庫内セキュリティ完備・一部空調設備有り
- ◆電気通信工事サポート
- ◆物流システム設計
- ◆ネットワーク&フットワーク
  - 輸送ネットワーク・情報ネットワーク・フットワーク
- ◆産業廃棄物収集運搬

本社 TEL:03-5653-9335 FAX:03-5653-9337  
青森出張所 TEL:017-728-7080 FAX:017-728-7081

おいしいお菓子づくりのお手伝い

お菓子とパンの原料専門店

**(株) 元木商店**

本社 青森市第二問屋町三丁目2番12号 TEL 739-9061  
八戸店 八戸市類家五丁目2の14 TEL 45-2755

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目11-18  
TEL:762-1411 FAX:739-7771 http://www.soft-academy.co.jp/

**株ソフトアカデミーあおもり**

●システム企画・開発・運用 ●IT教育 ●給排水CAD・申請 ●施設賃貸事業

**私達はIT教育と企業の情報化推進のサポートをします**

～明日のエネルギー環境を創る～

ボイラー・空調機器等の

**AC エイ・スイー・サービス** 株式会社

据付・修理・計装・保守サービス

〒030-0131 青森市問屋町一丁目12番2号  
本社 TEL 017-738-7788  
十和田(営) TEL 0176-22-9202  
むつ(営) TEL 0175-31-1191



交差点で安全運転呼びかけ  
交通安全街頭指導

青森交通安全協会問屋町支部では、今年度1回目となる交通安全街頭指導を7月23日(火)に行い、会員企業従業員73人が参加した。



交通安全街頭指導

問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日達成(予定日...2019年9月22日)が間近に迫り、参加者の安全運転呼びかけの声にも熱が入り、ハツ役五又路交差点で信号待ちするドライバーに「横断歩道は歩行者優先です」と書かれたピラを



信号待ちのドライバーにピラ手渡し

手渡した。同支部では8千日達成を目指し、会員企業に事業所内の安全運転の周知徹底をお願いするとともに、街頭指導などで問屋町を通行するドライバーの交通安全意識の向上を図る。

八甲田山ハイキングで  
心身リフレッシュ

7月28日(日)に八甲田山ハイキングが開催され、組合員従業員やその家族を含む8名が参加した。参加者は八甲田ロープウェイで山頂駅まで移動したのち、専属ガイドの案内のもと山頂駅から八甲田ゴードライン、



八甲田山ハイキング

毛無バラダイスラインを通り、約3時間かけて酸ヶ湯温泉まで歩いて下山。当日の天候はあいにくの曇り空だったものの、参加者は八甲田山の絶景や高山植物を思う存分に満喫。下山後は酸ヶ湯温泉で入浴して疲れた体を癒した。

団地企業訪問

今回は、6月に㈱青森読売I Sの代表取締役社長に就任した蛭川社長にお話を伺った。

同社は昭和58年4月に設立し、新聞折込広告を中心に、テレビ・ラジオや看板・イベントなどのプロモーション、印刷・制作やポスター・ティンダーなど幅広いビジネスソリューションを展開する「総合的コミュニケーション」を基本とした総合広告会社である。

「新聞折込広告は、新聞定期購読者の約6割が毎日閲覧し、85%を超える購読者が一週間のうち何らかの形で閲覧しています。折込広告は日々の暮らしの情報として、生活者に欠かせない生活密着型の情報媒体であり、毎朝新聞とともに届けられる信頼性の高い広告媒体です。」

体です。当社では全国紙・地方紙を問わず、県内は勿論のこと読売グループの全国ネットワークを活かした全国各地への折込広告の展開や情報発信が可能で、また、人口や世帯数・国勢調査などの膨大なデータベースから、戦略プランに最適な情報をマップ化・集約データ化するマーケティングシステムを備えていることも強みです。



青森読売I S 代表取締役社長 蛭川 輝彦 氏

「Switch on」くらに、ココロに、未来に。」の企業理念のもと、広告主であるお客様と生活者の橋渡しをお手伝いします」と語る。

業界の現状について尋ねると「青森の新聞購読率は非常に高いのですが、全国的にはネット社会が進み、紙離れが進行しています。折込

新たな取組みについて聞くと「広告代理業を通じた地域活性化・地域貢献を考えたいと思います。例えば、週末に団地内の駐車場を利用し

た企業と生活者を結びイベントやフリーマーケットなどの開催も一案です。同時に当社をもっと知って頂きたいと思っておりますし、地域に根ざした、地域に役立つ広告会社にならなければと考えています」と話した。

組合最大の人気イベントである「問屋町納涼パーティー」が今年も421名の参加者となり盛りあげていた。だいた従業員の方々がご参加くださいました。また8月より弁護士・社労士・司法書士の専門家無料相談コーナーを新設しました。このコーナーは相談者の日程で調整を行うという画期的なものです。是非ご利用ください。転話題。前回に続き話題の書「ファクトフルネス」についてです。前回「世界の人口のうち、極度の貧困にある人の割合は過去20年でどう変わったでしょう？」答えは三択。「A約2倍になった」「Bあまり変わっていない」「C半分になった」としてどれでしょうという質問でした。答えはCの「半分になった」でした。この本では「世界はどんどん悪くなっている」というのは、とんでもない勘違いだと著者ロスリング氏がデータを元に明らかにしてくれます。特に分かりやすいのは、国を「先進国」「発展途上国」と大雑把に分けるのではなく、所得を4つのレベルに分けて、そのレベルの変化がいかに人間の生活の質を変えていくのかという具体的なデータに基づく説明です。その視点で見ると、世界は明らかに良い方向に変化していることがわかります。「災害の死亡者数は減っている」「極限の貧困は減り」「人口の増加にも歯止めがかかりつつあります」「ロスリング氏は、世の中を「ドラマチックすぎる世界の見方」で見るとはならず「ファクトフルネス(事実に基づく世界の見方)」で見るとは驚くべきだと説いています。実に納得させられました(藤本)

建設業許可(建具、板金工事業)青森県知事(般-28)9925号  
~創意と技術~  
有限会社 桂工業  
取扱商品  
・製作金物  
内外装パネル(スチール、アルミ、ステンレス)、手摺、タラップ等  
・既製金物  
アルミ窓木、EXP-Jカー、内外装ルーバー、手摺、グレーチング、ハニカムパネル等  
・エクステリア関連商品  
フェンス、カーポート、車止め等  
〒030-0113 青森県青森市第二問屋町三丁目6-16  
TEL 017-752-8730 FAX 017-752-8732  
URL http://www.katsurakougyo.co.jp

浅草焼 5の丸亭  
株式会社 たかのや  
いろいろな美味しい笑顔に出会えます。  
本部: 青森市問屋町1丁目6-6 TEL: 017(752)7172  
URL: http://www.kktakanoya.com  
E-mail: kk\_takanoya@ybb.ne.jp